

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	71,583	流動負債	7,742
現金及び預金	67,540	未払金	4,363
前払費用	1,923	未払費用	974
未収入金	2,119	未払法人税等	570
固定資産	24,544	預り金	234
有形固定資産	10,137	賞与引当金	1,600
建物	9,641	固定負債	101,365
構築物	0	長期借入金	100,000
車両運搬具	313	長期未払金	1,365
工具、器具及び備品	183	負債合計	109,107
投資その他の資産	14,407	(純資産の部)	
差入保証金	13,433	株主資本	△ 12,980
繰延税金資産	974	資本金	50,000
		資本剰余金	36,363
		資本準備金	10,000
		その他資本剰余金	26,363
		利益剰余金	△ 99,343
		その他利益剰余金	△ 99,343
		繰越利益剰余金	△ 99,343
		純資産合計	△ 12,980
資産合計	96,127	負債純資産合計	96,127

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
(リース資産を除く)

定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

建物及び構築物	10年～39年
機械装置及び運搬具	6年
工具、器具及び備品	3年～8年

(2) 引当金の計上基準

- ① 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度に負担すべき額を計上しております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- ① 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっております。
② 連結納税制度の適用 連結納税制度を適用しております。

2. 表示方法の変更に関する注記

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」（企業会計基準第31号 2020年3月31日）を当事業年度の年度末から適用し、個別注記表に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	1,000株	一株	一株	1,000株

(2) 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	前事業年度末の株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末の株式数
普通株式	一株	一株	一株	一株